

JR花巻駅橋上化・東西自由通路 デザインコンセプト検討ワークショップ（全3回）が終了しました

自由通路や橋上駅舎のデザインについては、JR東日本から基本設計を開始する前に市がデザインコンセプトを示せば十分考慮するとのお話しをいただいたており、また、昨年開催した説明会の参加者等からもデザインに関する質問・意見が多く寄せられたことから、市では、これまでの構造を前提としながら、「花巻らしい」デザインコンセプトを、市民の皆様の意見を伺いながら作るため、デザインコンセプト検討ワークショップを開催いたしました。

※自由通路及び橋上駅舎のデザインコンセプトとは

駅舎や自由通路の外観や内観に関する、材質などの質感、色、明るさ、雰囲気などのデザインの方向性を検討するためのキーワード

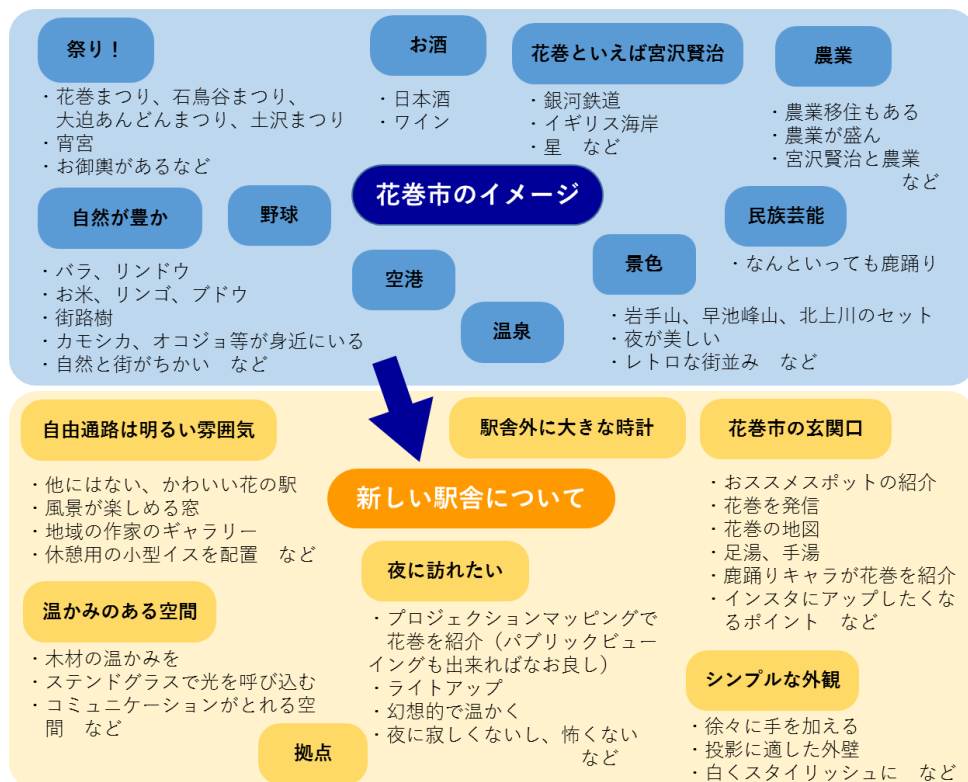
（1）デザインコンセプト検討ワークショップの開催日時及び開催場所

回数	日程	場所
第1回	令和5年1月29日（日）10:00～12:00	生涯学園都市会館（まなび学園） 3階第2・第3中ホール
第2回	令和5年2月19日（日）10:00～12:00	定住交流センター（なはんプラザ） 1階COMZホール
第3回	令和5年3月19日（日）10:00～12:00	定住交流センター（なはんプラザ） 1階COMZホール

（2）検討した内容

第1回 「花巻の残したい風景や花巻らしさとは？」

第1回目に「花巻らしい」とはどのようなことなのか、駅の「花巻らしい景観要素」は何かについて、自由に話し合いを行いました。



第2回 「花巻駅及び駅周辺に創りだしたい景観テーマ・ストーリー(物語)・世界観」

第1回ワークショップで出された意見について分析した結果、①宮沢賢治、②文化伝統芸能、③レトロな街並み、④スタイリッシュ、⑤具体的なしつらえの5つのテーマについて、花巻駅および駅周辺に創り出したい景観テーマ・ストーリー・世界観についてグループごとに話し合いました。



第3回 「デザインコンセプト案のとりまとめ」

これまで話し合ってきたデザインコンセプト案についてグループごとにまとめの話し合いを行いました。(各班のまとめのタイトルとコンセプトの一部を記載)

1班

「残す」「変わり続ける」「遊ぶ」花巻

- ★宮沢賢治のイメージ
賢治作品を取り入れた外観、世界観
- ★スタイリッシュ
スタイリッシュな外観、木材の温もり
- ★遊びのしつらえ
光で遊ぶ間接照明、ステンドグラス
- ★内部の使い方
地域のPRや紹介をする場、展示スペース
- ★花
花壇、地域の関わり(花壇の管理) など

2班

This is 花巻

- ★レトロ
レトロの中に宮沢賢治をいれる
- ★シンプルなお外観
色もシンプル(白、黒、茶)、清潔感、特産を表現
- ★内観
用途に合わせた照明、計算された窓配置、ステンドグラス、各地域の特産を何かで示す
- ★その他
音で感じられる、Wifi、勉強スペース など

3班

Feel 花巻～花巻まるごと詰め込んだ感じる花巻盛りだくさん～

- ★外観
シンプル、1色の壁、プロジェクションマッピングができるよう凸凹が少ない壁
- ★自由通路
大きな窓、自然光の温かみ、東側にステンドグラス、床の一部をガラス(電車が見える)
- ★内観
花や鹿踊りのモチーフ、木材の温かみ など

4班

あの頃の自分にもう一度会える花巻

- ★宮沢賢治&レトロ
夜空、時計、ステンドグラス
- ★交流の場所
花を通じた地域との交流、レトロな黒板の掲示板、観光客と市民の接点、マルシェ
- ★普段使い
勉強スペース、子供たちも楽しめるしつらえ(視点) など

ワークショップで検討いただいたデザインコンセプト案については、有識者会議で意見を伺ったのち、JR東日本に対して、これまでの検討経過と合わせて提供する予定です。